

3 市との打ち合わせ会 概要（2014・12・12，君津市役所）

1 参加者

君 津 市：企画政策課 村田 等氏

石黒裕之氏

木更津市：企画部地域政策課 中村伸一氏

袖ヶ浦市：企画財政部企画課 高品 誠氏

千葉商大：犬塚、和田，鈴木

議事

1 千葉商大からこのプロジェクトの趣旨説明

調査研究目的としては、「久留里線沿線の観光開発の可能性」「君津，木更津市，袖ヶ浦市への移住者調査」「君津地域の醸造業」など。その過程で，学生，高校生とのコラボレーションによる活動の企画・実施を計画していることを鈴木が説明した。

2 木更津市側の情報

久留里線についてはこれまで県と3市で取り組んできた。県（総合企画部）の見解では，久留里線は私鉄だったら廃線になってもおかしくない状況であるが，住民の生活の足であり，高校生の通学手段であることから残してきた，という事情があるようである。

久留里線のうち，木更津市の部分では，馬来田（まきた）地域に特色がある。この地域は人口が減少しているが，馬来田城や古墳，万葉集の歌碑，ウォーキングコース（コスモスロード）や湧き水（いっせんぼく）があり，観光資源として生かせる。

3 袖ヶ浦市

長浦，袖ヶ浦駅周辺では，開発で住宅地が増加し，住民人口が増加している。久留里線が通っている平川地域は人口減少地域であり，久留里線の横田，東横田駅は利用者も減少している（1日400人→200人）。利用者はやはり高齢者と学生である。平川地区では人口減少にどう取り組むかについて，市と住民とで検討会を行っている。久留里線沿線にある平岡小学校幽谷分校周辺では夏にホテルを見ることができる。また，ウォーキングコースも整備している（農水省事業）。周辺の観光スポットとしては，ドイツ村がある。今はクリスマスイルミネーションがあって，結構賑わっている。木更津東インター

近くに「道の駅」を新設し、整備中で、交流拠点となることを期待している。

4 補足的情報

(1) 木更津市

馬来田地区に圏央道が通るので、そこに道の駅を作る計画を進めている。外から見ると自然が豊かで健康作りには最適の場所のように見えるが、地元の住民はその点にはあまり関心がないようだ。ブルーベリーの栽培が盛んで、森林セラピーの場所としても利用出来る。アクアラインが開通し、料金が800円に引き下げられ、かつ圏央道が開通してから、徐々に事業所が増え、人口も増えてきた。高速バスを使うと、東京都心部に出るのに、JRより早くて（時間が半分くらい）座っていけるので、出やすくなった。

(2) 君津市

久留里周辺以外の観光スポットとしては、鹿野山・マザー牧場、三船山（ウォーキングコース）がある。三船山は標高150M程度なので、毎日上っている人もいる。コースの整備は地元の観光協会が行っている。年間3.5万人が利用している。

久留里の名水、積極的に広めてほしい。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地元の観光資源を外国人に説明出来るような地元ガイドの要請について、大学として協力して欲しい。

5 高校との連携

木更津市の高校とも連携して活動したいということで、中村氏に市内の高校との調整を依頼した。

6 かずさ DNA 研究所の活用について

今回の久留里線活性化事業では直接の対象にはならないが、君津市と木更津市にまたがるかずさ DNA 研究所とかずさアカデミアパークの活用について討論した。3市の方々の話によると、地元自治体からはあまりアプローチはしていないようで、地域では孤立しているような印象を受けた。

君津市ではイノシシが増えていて農作物への被害が生じているので、かつて増殖対策を相談に行ったところ、同研究所では植物の DNA の研究をしているので、動物については扱っていないとのことで断られたそうである。

我々の方から。日本酒の醸造や特産の農産物（イチゴやブルーベリーなど）の栽培などで協力を要請にいったらどうか、という提案をした。

7 全体的雰囲気

アクアラインを通っての通勤通学が増えて、東京志向が強まっていることに地元自治体はある意味で危機感を抱いているようであった。特に若者が地元の魅力を十分に理解することなく離れていく現象を食い止めたいという意向である。この点では我々の取り組みに対して非常に好感を持って受け止めてくれたようである。

人間社会学部の学生と地元の高校生とのコラボにより、高校生が自分たちの住む地域の魅力に気づいてくれて、地元にとどまる傾向が強まってくれることを期待しているように思われた。

8 今後の活動について

JR 東日本千葉支社との折衝については、犬塚先生が中心になって進めることにしている。木更津市の高校については、木更津市役所の中村氏からの情報を待って、先方との折衝をする予定である。

ゼミの所属が決定してから、プロジェクトメンバーの研究3の所属学生を集めて説明会を開き、2月の予備調査に供えることにしたい。メンバー以外のゼミの学生について参加を認めるかどうかについては、今後プロジェクト内で検討したい。